

# 組合支援 ウォッチ

## キャッシュレスサービス 「KAZAPi (かざっぴ)」導入と 飲酒運転撲滅支援

### 第一個人タクシー事業協同組合の取り組み紹介

福岡県久留米市で活動する第一個人タクシー事業協同組合は、久留米市内の個人タクシー事業者57名で組織する組合で、ガソリンやタイヤ等のタクシーを走らせる上で必要な物品の共同購買事業などを実施しながら、大坪東吉郎理事長の強力なリーダーシップのもと活発な組合運営を行っています。

このような中、同組合ではクレジットカードや電子決済を1台で可能にする、タクシー向け決済サービス「KAZAPi (かざっぴ)」の導入を進めています。導入に関しては、数年前から理事会などで検討が始まり、機能や導入・維持費等を吟味したうえで、本年5月8日に行われた通常総会にて組合全体で取り組むことが決議されました。既に半数以上の稼働を開始しており、年内に全組合員の対応を完了する予定です。総会終了後には、「KAZAPi (かざっぴ)」を提供する株式会社エム・ピー・ソリューションの担当者による導入講習会も開催され、参加した組合員が実際に決済機を手に取り、熱心に操作方

法を学ぶ姿が印象的でした。

近年、福岡県への外国人観光客数が増加傾向にある中、久留米へも中国人などを中心とした観光客の姿が多く見られるようになりました。

今回のキャッシュレス化によって、若者世代や外国人などの新たな需要が生まれることが期待されており、大坪理事長は「組合の取り組みが久留米のタクシー業界の活性化に繋がる」との意気込みを語られました。

また、同組合では、飲酒運転撲滅活動を行う「NPO法人はあとスペース」に対する支援として、同NPO法人への義援金の寄付や組合員が普段の営業で乗るタクシー車体へのステッカー貼付等を行っており、通常総会に出席したNPO法人の山本美也子代表から感謝状が贈られました。

地域交通の担い手である第一個人タクシー事業協同組合のこれらの取り組みによって、今後、地元の活性化や安全化が実現されることが期待されます。



「KAZAPi」の実機を手にする大坪理事長



感謝状を受け取った大坪理事長とNPO法人はあとスペース山本美也子代表